

癌化学療法レジメン

氏名: _____
 ID: _____
 体表面積: _____ m² 体重: _____ kg

プロトコール名 **DBd療法(ダラキューロ:2~3クール目)**
 対象疾患 再発または難治性の多発性骨髄腫
 診療科 血液内科
 施用者 _____

1 投与薬剤名、投与量、投与方法

	投与薬剤名	投与量	投与可能量(mg)	溶解、希釈液	投与方法
day1,8					
①	カロナール	1000mg(5錠)			ダラキューロ開始の1時間前から内服
	レナデックス	20mg(5錠)			
	d-クロルフェニラミ	2mg/錠(1錠)			
②	ダラキューロ	15mL/body			皮下注(特記事項参照)
③	ボルテゾミブ	1.3mg/m ²		1Vあたり 生食1.2mLに溶解	皮下注
day2,5,9,12					
①	レナデックス	20mg(5錠)			朝食後
day4,11					
①	レナデックス	20mg(5錠)			朝食後
②	ボルテゾミブ	1.3mg/m ²		1Vあたり 生食1.2mLに溶解	皮下注
day15					
①	カロナール	1000mg(5錠)			ダラキューロ開始の1時間前から内服
	レナデックス	20mg(5錠)			
	d-クロルフェニラミ	2mg/錠(1錠)			
②	ダラキューロ	15mL/body			皮下注(特記事項参照)

2 投与方法の図式

3 投与スケジュール

1クール21日間。ダラキューロをday1,8,15に、ボルテゾミブをday1,4,8,11に
 レナデックスをday1,2,4,5,8,9,11,12,15に行う。

4 特記事項

・ダラキューロとボルテゾミブの間隔は10分間はあけること。
・ダラキューロは臍から左又は右に15mLを3~5分かけて投与すること
・ダラキューロは間接クームス試験への干渉が認められることがある。
・day15のレナデックスは医師の判断で省略可。